

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: アロンセラミック D
供給者の会社名称	: 東亜合成株式会社
住所	: 東京都港区西新橋 1-14-1
電話番号	: 03-3597-7275
FAX 番号	: 03-3597-7353
緊急連絡電話番号	: 0766-44-7401 (高岡工場)
推奨用途及び使用上の制限	: 本製品の用途は業務用 (工業用) 接着剤です。その他特殊用途に使用される場合には貴社にて事前に安全性をご確認の上、ご使用下さい。体内に埋植、注入したり、または体内に本製品の一部分が残留する恐れのある用途には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	可燃性の高いエアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1

	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (肺)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (呼吸器, 免疫系, 腎臓)
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示



- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 (H314)
 呼吸器への刺激のおそれ (H335)
 遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)
 発がんのおそれ (H350)
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (肺) (吸入) (H372)
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (呼吸器、免疫系、腎臓) (H373)
- 注意書き
- 【安全対策】** : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 粉じん／ミストを吸入しないこと。(P260)
 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
 適切な保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
- 【応急措置】** : 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)
 皮膚 (又は髪) に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。そ

- の後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
- 【保管】 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
 施錠して保管すること。(P405)
- 【廃棄】 : 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)
- 重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : ケイ酸ナトリウム系無機接着剤

化学物質等の名称	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
酸化アルミニウム	55-65	Al ₂ O ₃	1-23	既存	1344-28-1
水	15-25	H ₂ O	対象外	対象外	7732-18-5
ケイ酸塩	10-20	M ₀ ·SiO ₂	収載済	収載済	企業秘
ケイ砂他無機骨材	1-5	SiO ₂ ・他	1-548・他	収載済	14808-60-7・ 企業秘
ジルコニウム化合物	1-5	企業秘	収載済	収載済	企業秘

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 衣類が皮膚に密着している場合には無理にはがしてはならない。
 多量の水で洗うこと。
 皮膚に刺激がある場合は、医者の手当てを受ける。
 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 多量の水と石鹼で優しく洗うこと。

眼に入った場合	: 苦痛が生じたり、症状が持続する場合は、眼科医を受診すること。 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。 口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 皮膚に付着した場合: 皮膚乾燥、紅疹(発赤)、かゆみ、発疹を引き起こす恐れがある。
応急措置をする者の保護	: 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	: 症状に合わせて処置すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 本製品は不燃性である。周辺火災に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: 情報なし
消火を行う者の保護	: 耐薬品性着衣を着用する。適切な呼吸用保護具を用いる。
特有の危険有害性	: 製品自体に燃焼性はない。
特有の消火方法	: 権限を有する人物以外の立ち入りを禁止すること。 危険でなければ危険区域から容器を移動する。 風向に注意すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	: 権限を有する人物以外の立ち入りを禁止すること。 第7項および第8項の保護対策を参照する。
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。 漏出物は回収すること。
回収・中和方法	
少量の場合	: 吸収材(例; 布、フリース)で拭き取る。
大量の場合	: 広範囲へ広がらないようにすること(例、土嚢などで堰を設置する)。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 安全に対処できるならば漏洩を止めること。
二次災害の防止策	: 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策(局所)	: 第8項『設備対策』を参照。

排気・全体換気等)

安全取扱注意事項 : 眼、皮膚、衣類につけないこと。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 粉じん／ミストを吸入しないこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

接触回避 : 第 10 項を参照。

衛生対策 : 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

保管

技術的対策 : 凍結させない。
 品質保証期間を越えて長期保管しないこと。
 適用法令を遵守する。

混触危険物質 : 第 10 項を参照。

安全な保管条件 : 容器は、密閉した状態を保ち、冷所で保管すること。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン
 料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度(日本産業衛生学会) : 下表を参照。

許容濃度(ACGIH) : 下表を参照。

成分名	管理濃度	許容濃度(日本産業衛生学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃)	情報なし	【粉塵許容濃度】(第 1 種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³	情報なし
二酸化ケイ素	情報なし	【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m ³	TWA 0.025 mg/m ³ (R), STEL -
ジルコニウム化合物	情報なし	【粉塵許容濃度】(第 3 種粉塵) 吸入性粉塵 2mg/m ³ 総粉塵 8mg/m ³	TWA 5 mg/m ³ , STEL 10 mg/m ³ (ジルコニウムとして)

設備対策 : 十分な洗浄設備を備えること。

保護具

呼吸用保護具 : 特になし

	吸入による暴露が懸念される場合は呼吸保護具の装着が推奨される。
手の保護具	: PE(ポリエチレン)使い捨て手袋、ゴム手袋
眼の保護具	: 化学用ゴーグルまたはフェイスシールド 保護めがね/顔面保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 液体飛沫から眼、顔および肌を保護する。 実験用白衣 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状	: 液体
色	: 白色～淡褐色
臭い	: 無臭
pH	: 約 12
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 約 2.3
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水の分配係数 (log Kow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
粘性率	: 約 50000 mPa・s at20°C
粒子サイズ	: データなし
粒径分布	: データなし
粒子形状	: データなし
粒子アスペクト比	: データなし
粒子比表面積	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の手扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし

混触危険物質 : 酸性液との接触を避ける。
危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 6%は毒性未知の成分であったので、分類できないとした。
急性毒性（経皮） : 情報なし
急性毒性（吸入：気体） : GHS 定義で液体であるので、分類対象外。
急性毒性（吸入：蒸気） : 情報なし
急性毒性（吸入：粉じん） : 情報なし
急性毒性（吸入：ミスト） : 情報なし
皮膚腐食性／刺激性 : pHが11.5以上であるので、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : pHが11.5以上であるので、区分1とした。
呼吸器感作性 : 情報なし
皮膚感作性 : 情報なし
生殖細胞変異原性 : 生殖細胞変異原性区分2の成分が $\geq 1.0\%$; 区分2。
発がん性 : 発がん性区分1Aの成分が $\geq 0.1\%$; 区分1A。
生殖毒性 : 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3の成分が $\geq 20\%$; 区分3(気道刺激性)。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1が $\geq 10\%$; 区分1(肺)。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1が $< 10\%$ 、 $\geq 1.0\%$; 区分2(呼吸器、免疫系、腎臓)。
誤えん有害性 : 本製品の試験データがないので、分類できないとした。
有害性その他 : 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 加算法で(急性1 $\times M \times 100$) + (急性2 $\times 10$) + (急性3) $< 25\%$ で、分類できないとした。(61%は毒性未知の成分)
水生環境有害性 長期(慢性) : 加算法で長期間1+長期間2+長期間3+長期間4 $< 25\%$ で、分類できないとした。(64%は毒性未知の成分)
残留性・分解性 : 情報なし
生体蓄積性 : 情報なし

生態系 - 土壌	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない: モントリオール議定書の附属書に列記された成分を含まない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 内容物/容器を『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 洗浄後、リサイクルするか、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: IMO の規定に従う。
UN-No. (IMDG)	: UN3266
Proper Shipping Name (IMDG)	: CORROSIVE LIQUID, BASIC, INORGANIC, N. O. S.
Class	: 8
Packing group	: III
Marine pollutant	: Not applicable
航空規制情報	: ICAO/IATA の規定に従う。
UN-No. (IATA)	: UN3266
Proper Shipping Name (IATA)	: Corrosive liquid, basic, inorganic, n. o. s.
Class	: 8
Packing group	: III

国内規制

陸上規制	: 消防法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
国連番号	: UN3266
正式品名	: その他の腐食性物質 (無機物) (液体) (アルカリ性のもの)
クラス	: 8
容器等級	: III

海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
国連番号	: UN3266
正式品名	: その他の腐食性物質（無機物）（液体）（アルカリ性のもの）
クラス	: 8
容器等級	: III
指針番号	: 154
特別な輸送上の注意	: 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） ジルコニウム化合物 酸化アルミニウム 結晶質シリカ 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 結晶質シリカ 酸化アルミニウム ジルコニウム化合物
労働基準法	: 疾病化学物質及びがん原性物質に該当しない(第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号および第7号)
消防法	: 非危険物
化審法	: 一般化学物質（監視化学物質・特定化学物質・優先評価化学物質を1%以上含有しない）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質を1%以上含有しない(第2条、施行令別表第1、別表第2)
毒物及び劇物取締法	: 特定毒物・毒物・劇物に該当しない
港則法	: その他の危険物・腐食性物質（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
船舶安全法	: 腐食性物質（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	: 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
大気汚染防止法	: 排出規制物質・特定物質・汚染物質・揮発性有機化合物に該当しない
高圧ガス保安法	: 高圧ガスに該当しない
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項（キャッチオール規制）
海洋汚染防止法	: 有害物に関する国際海事機関海洋環境保護委員会の判定を受けていない。（第3条、施行令別表第一の一、二）

水質汚濁防止法	: 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3） 酸化アルミニウム
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号） ケイ酸塩 酸化アルミニウム
下水道法	: 施行令第9条の四の物質に該当しない
火薬類取締法	: 火薬類に該当しない
土壌汚染対策法	: 特定有害物質を含有しない
オゾン層保護法	: 施行令別表の物質を含有しない
悪臭防止法	: 特定悪臭物質に該当しない

16. その他の情報

本データシートは JIS Z 7252 : 2019、JIS Z 7253 : 2019 に準じて作成しています。

参考文献 : 1) 東亜合成社内測定データ
2) 原材メーカー SDS データ
3) N I T E 公開データ

その他 : 略語一覧
ACGIH ; 米国産業衛生専門家会議

記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成されておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。

以上
